

# 幼稚園の増築

## 一日も早く

### 瓶岩地区 市政懇談会



瓶岩地区で七月三十一日、初めての市政懇談会が瓶岩幼稚園で行われました。これは、公民館事業の一環として、もつと市政とのつながりを密に——と開かれたもので、市からは小笠原市長、鈴江教育長、浜田助役らが出席。地元からは約二十人が参加し、山間地域の振興など地元の身近な問題について、熱心に話し合いました。

#### 討議内容は……

○北部山間地域の振興について、どのような方策を。

●現在、新林業構造改善事業の導入を検討している。これは林業農家の生産基盤の整備、生活環境の整備などを旨とするもので、事業種目はそれぞれの条件のもとに多岐にわたっている。今考えているのは五カ年計画で、四億六千万円程度の事業の導入で、国の補助は半分くらいの予定だ。

初めての市政懇談会に、地元からは20人が出席した。

分なPTA活動もできない。特に、三歳児は狭い部屋に閉じ込められているような感じで、一日も早い増築、改築を願む。また、地区公民館の移転も考えてほしいが。

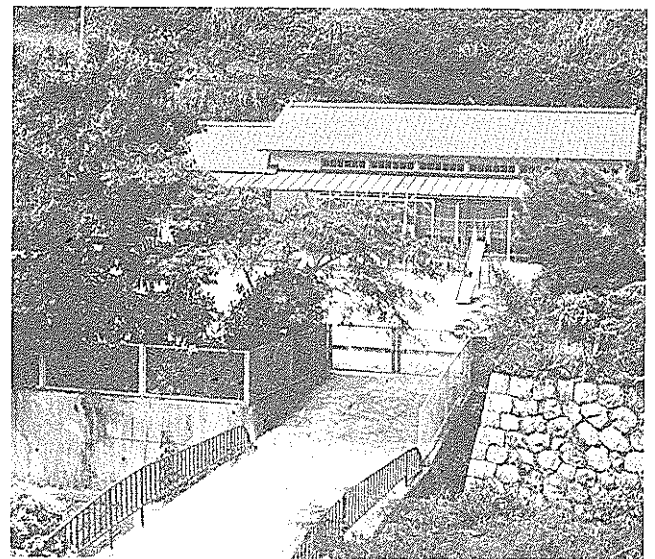
●現在の園舎は昭和三十四年に建築されたもので、当時四歳児と五歳児の二学級を基準にして造られた。ところが、昭和三十七年に三歳児も入れることになり、現在は園児数六十四人となっている。

そのため、文部省の基準からいっても五十平方メートル不足しており、皆さんに大変迷惑をかけている。建築年代が新しく、今のところ危険校舎の指定を受け全面改築することは難しい。実情はよくわかっているが、まだ、義務教育施設の

建設に追われているのが現状だ。先の新林業構造改善事業の中で、幼稚園や公民館の改築ができないものか検討している。

●黒滝し尿処理場で行っている地下浸透方式では、南の栲、釣版地区に多く浸透しているように思う。水質検査はどのようにしているのか。そのデータは、地元にはきちんと報告してほしい。

●水質検査は栲川、中谷川、両河川の合流点の三カ所で、年四回の検査を行っている。また、処理場のすぐ下のところでも水質検査をしているが、心配する結果は出ていない。検査結果については、地



園児の数も増え、教室も狭くなり、早い増築が望まれている瓶岩幼稚園

元の代表者に知らせている。このほか、栲・釣版間の舗装や林業作業道の設置などの要望も出されました。

#### 島本保義公民館長の話

瓶岩地区は市のはずれでもあり、いろいろな面で行政とのつながりも薄い。今日は、地元の実情を知ってもらおう、よい機会を得たと思います。ただ、地元からの参加者がやや少なかったのが残念でしたが、今後このような機会をつくり、地域と行政とのつながりを深めてゆきたい。